

2025年3月17日

各 位

会社名 株式会社大和証券グループ本社  
代表者名 代表執行役社長 荻野 明彦  
(コード番号 8601 東証プライム・名証プレミア)

**インパクト投資ファンド「インパクト・キャピタル1号投資事業有限責任組合」への出資について  
～豊かな未来の創造を目指す、インパクト志向のビジネス支援として～**

大和証券グループ（以下、「当社グループ」）は、インパクト・キャピタル株式会社（東京都渋谷区、代表取締役 黄 春梅氏、高塚 清佳氏）が組成したインパクト投資ファンド「インパクト・キャピタル1号投資事業有限責任組合」（以下、「本ファンド」）への出資契約を締結しました。

本ファンドは、「『人』の Well-being を追い求めるインパクト投資」をミッションに掲げ、「多様性が認められ、かつ、価値観に基づいて選択することができる、彩り豊かな社会の創出」に向け、インパクト投資（※1）を通じて、経済的リターンと社会的リターンの両立を目指すものです。

当社グループは長年にわたり、サステナブルファイナンスの普及・拡大に注力しており、環境・社会に対する企業活動の影響を可視化し、果たすべき責任の方向性を明確化することが重要であると認識しています。本ファンドにおけるインパクト測定・マネジメント（※2）の実践事例から多様な金融サービスへのインパクトの統合方法を検討し、国内におけるインパクトファイナンスのすそ野の拡大に貢献していきたいと考えております。

当社グループは、経営ビジョン「2030Vision」のもと、引き続きステークホルダーの皆様と共に、金融・資本市場を通じた豊かな未来の創造および企業価値の向上に努めてまいります。

（ご参考）当社グループのサステナビリティに関する取組み：

[https://www.daiwa-grp.jp/sustainability/?cid=ad\\_eir\\_sdgspress](https://www.daiwa-grp.jp/sustainability/?cid=ad_eir_sdgspress)

- (※1) インパクト投資：財務的リターンと並行して、ポジティブで測定可能な社会的及び環境的インパクトを同時に生み出すことを意図する投資行動を指す
- (※2) インパクト測定・マネジメント：IMM（Impact Measurement & Management）と呼ばれ、ビジネス上の活動が人や地球に与えるポジティブとネガティブの両方の影響を特定し検討することを含み、その上で自身の目的と整合させつつネガティブな影響を低減し、ポジティブな影響を最大化する方法を見出し、実践する反復的なプロセスを指す

**【本ファンドの概要】**

名称	インパクト・キャピタル 1 号投資事業有限責任組合
設立時期	2024 年 5 月
ファンド規模	70~100 億円
存続期間	10 年間
無限責任組合員	インパクト・キャピタル 1 号有限責任事業組合
ジェネラルパートナー	黄 春梅氏、高塚 清佳氏
投資対象	「人」の Well-being を中心に捉え、「多様性」と「選択肢」の提供に資する キャリア、ケア、暮らし、街づくり、環境の分野にて社会的インパクトを創出する 事業

以 上